

立山杯第二十三回北信越空手道選手権大会

【Road to adidas KARATE GRAND PRIX 2026】

令和八年度第四十四回全日本大会チャンピオンクラス権利獲得の全国で一番早い大会

大 会 要 項

全日本空手道連盟

国際正道-空手連盟 正道会館正天會

日 時 令和7年11月8日 土曜日 ※土曜日開催です

選手受付 11:00~11:30 ※時間厳守

開会式 12:00

会 場 富山県西部体育センター大アリーナ ※昨年と会場が異なります

〒939-1313 富山県砺波市柳瀬 241 ※第四駐車場は駐車禁止です

部 門 【空手 plus スポーツ】

●高校生以下（各学年男女別）

《全階級》帯色に関係無く学年別

◎本戦1分30秒→延長1分(完全決着)

【フルコン】

●中学生以下（幼年混合年中・年長、小学生男女、中学生男女）

《初 級》大会初出場及び入賞経験の無い初級帯

◎本戦1分 →延長1分(完全決着)

《中 級》過去一年以上入賞経験の無い茶帯以下

◎本戦1分30秒→延長1分(完全決着)

《上 級》出場制限無し ※adidas KARATE GRAND PRIX 2026 権利獲得部門

◎本戦1分30秒→延長1分(完全決着)

●高校生以上（一般男女、青年(35歳以上)男性、壮年(45歳以上)男性）

《初 級》黄帯、青帯

◎本戦2分 →延長1分(完全決着) ※青壮年は本戦1分30秒

《中 級》緑帯、茶帯

◎本戦2分 →延長1分(完全決着) ※青壮年は本戦1分30秒

※各部門の詳細は別紙の出場誓約申込書を参照して下さい

※参加人数により部門統合や閉鎖等をする場合があります

防 具 別紙の試合規約を御参照頂き必ず該当する防具を用意して下さい

※当日の貸し出しは一切有りません

※着用無き者の参加は認めません

参 加 費 金 7,000 円

金 12,000 円（空手 plus スポーツとフルコンの両方に出場）

※参加費の返金は部門閉鎖等を除き致し兼ねます

申込方法 申込書に必要事項を明記の上、参加費を添えて必ず申込締切日迄に所属道場の先生が纏めて現金書留で大会事務局宛に郵送して下さい

申込締切 令和7年9月17日水曜日迄に大会事務局必着 ※締切厳守

申 込 先 〒939-1522 富山県南砺市野新 195 電話 090-8968-0517

正道会館 正天會 宛

■空手Plusスポーツ【一般男女/青壮年/幼年～中学】大会規約

《得点・判定基準規定》

■得点基準■

一本以外のポイントの獲得には、ダメージの有無に関わらず、全て原則として「気合」を必要とする。
一本に至らないダメージを与えても、「気合」が無い場合はポイントにはならない場合がある。

有効(ポイント1)

- ・上段、中段への直突きをノーガードの箇所クリーンヒットさせた場合

有効(ポイント2)

- ・膝蹴りを除く中段への蹴りをノーガードの箇所クリーンヒットさせた場合
- ・ポイントが累積された場合

有効(ポイント3)

- 1) 上段への蹴りをノーガードの箇所クリーンヒットさせた場合
- 2) 瞬間的な崩しや投げ、足払い、蹴り等で転倒させた相手や、胴廻し回転蹴り等で自ら転倒した相手へ、即座に腰よりの腕を除く部位へ下段突きをすくめて決めた場合
→転倒している選手による下からの蹴り上げは認める。

- ・ポイントが累積された場合

有効(ポイント4～5)

- ・ポイントが累積された場合

一本(ポイント6)

- ・ダウン(スタンディングダウンも含む)や戦意を喪失させた場合
- ・ポイントが累積された場合
- ・主審・医師が相手選手の試合続行不可能と判断した場合

■勝敗と判定基準■

どちらかが6ポイント(一本)を獲得した時点で試合終了。あるいは試合終了時点で判定を取り、得失点差の高い方の勝ちとする。同点の場合は、先にポイントを取った選手の勝ち(先に減点になった場合は相手選手の勝ち)となり、双方無得点の場合は延長とする。

▶延長戦はどちらかにポイント又は減点が与えられた時点で終了とする。

▶延長戦で両選手無得点の場合はどちらかに旗をあげるマストシステムとする(体重判定は行わない)。

延長戦での判定基準は、ダメージ、有効打、戦略や技術の優劣、中段以上の蹴りの多さ、しかけた技の多さ、力強さ、闘争心、試合態度、等で判断される。

《禁止行為・罰則基準規定》

禁止行為は次の2つに分類される。

■危険行為(負傷につながる禁止行為)■

- ・上段(顔面、頭部、頸部)への直突き以外の手技による攻撃(ただし脇を開いた直突きは認める)
- ・頭突きでの攻撃(パッティング含む)
- ・金的への攻撃
- ・主審の「やめ」の後での攻撃
- ・腰から上へ持ち上げての投げ
- ・相手の蹴り足を持つての投げや連続攻撃(一撃のみ認める)
- ・背後からの正中線への攻撃
- ・倒れた相手、又は攻撃の為ではなく足の裏以外が床についた相手へ攻撃を当てる事
- ・その他審判が危険行為と判断した場合

■違反行為(試合の進行を妨げる禁止行為その他)■

- ・相手を両手でつかむ事
- ・片手によるつかみは認めるが即座に攻撃をしない場合
- ・首相撲
- ・片手でも首相撲のような形で頭部、頸部を抱え込む事(高校生以上は認める)
- ・クリンチを仕掛ける事
- ・2回以上場外へ出る事(相手に押されたり投げられたりして出た場合は除く)
- ・ポイント先取した後、逃げ回る行為には、忠告あるいは警告が与えられる場合がある。
- ・不活動(見合ったままの状態が長く続く時)
- ・相手の危険行為による負傷を装う事、又は誇張する事
- ・礼をしない事、審判団に対する不作法、道徳に反する行為
- ※礼は、背中と両腕を伸ばした気をつけの姿勢から、無言で上体を約30度前に倒す動作とする
- ・その他審判が違反行為と判断した場合

■罰則基準■

警告(減点1)

- ・上記禁止行為のいずれかに該当した場合

反則注意(減点2)

- ・禁止行為により相手選手に大きなダメージが認められた場合
- ・減点が累積された場合

反則=反則負け(減点3)

- ・禁止行為により相手選手に試合続行不可能なダメージが認められた場合
- ・減点が累積された場合

※減点は分類を超えて累積される。

■失格■

- ・試合中、審判員の指示に従わなかった場合
- ・出場時刻(試合開始時間)に遅れた場合
- ・各階級の規定体重をオーバーした場合(1グラムでも失格)
- ・試合中、選手が許可なく試合場から下りた場合や、セコンドが許可なく試合場に上がった場合
- ・その他審判団が悪質と判断した場合

■出場停止処分■

競技者が、悪質な禁止行為を行った場合、あるいは競技者又はセコンドが空手道の信用を失墜させる行為を行った場合には、その競技者を失格とし、審判団権限により一年間の正道会館公式試合への出場停止処分を与える。

【審議】

◎競技判定において、審議を必要とする場合の最終決定権は大会審判長にある。

◎審議内容については監査・審判が説明。決定にはいかなる抗議も受け付けない。

【注意】

◎セコンドは選手1名に対し、2名までとする。

◎大会会場及び試合中に生じた負傷・事故については競技者の自己責任となる。この件について主催者は一切の責任を負わない。自己判断にて事前に医師の診断を受けること。当日は大会医師並びに大会教職員あり。

●各自用意 ○主催者用意 △任意着用 ー着用なし

防具	クラス	男子				女子			
		幼年	小・中	一般	青壮年	幼年	小学	中学	一般
マウスピース		△	△	△	△	△	△	△	△
正道会館公式ヘッドガード KP-I		●	●	●	●	●	●	●	●
カラテプラス用サポーター(アディダス製)		●	●	●	●	●	●	●	●
スネサポーター(布製)		●	●	●	●	●	●	●	●
ヒザサポーター(布製)		△	●	●	●	△	●	●	●
金的ファールカップ		●	●	●	●	—	—	—	—
心臓震盪予防用インナーチェスト		△	△	—	—	△	—	—	—
スポーツブラ		—	—	—	—	—	●	●	●
アンダーガード		—	—	—	—	●	●	●	●
Tシャツ(白無地のみ)		—	—	—	—	●	●	●	●

◎拳頭部へのテーピング・バンテージは、裂傷がある場合にのみ認める。(監査チェック必要)
◎金的ファールカップ・アンダーガードは必ず着着の中に着用。
◎小・中学生以上の女子のインナーチェストとスポーツブラは選択可能。
◎防具の貸出しは一切行わない。

立山杯第二十三回北信越空手道選手権大会 出場誓約申込書

開催日 令和7年11月8日(土)

会場 富山県西部体育センター大アリーナ

全日本空手道連盟

国際正道空手連盟 正道会館正天會 御中

私儀、以下の通り相違なく本大会の試合規約を遵守し正々堂々と競技する事をここに誓います
又、審判の判定に対し一切の異議を申し立てない事を約束し本大会での事故や怪我について
主催者及び対戦相手にその責任を問う事は一切致しません

流派道場	社団法人 極真会館 高橋道場
先生氏名	範士 高橋康夫
住所	〒 本部道場〒918-8057 福井市加茂河原3丁目1-22 TEL 0776-35-8658 FAX 0776-35-3108
電話番号	()
携帯電話	()

※所属道場の先生が記入捺印して下さい
(複写及びゴム印対応可)

申込年月日 令和 7 年 月 日

選手氏名
(未成年者は保護者名)

印

【両方共出場】 ☐ 【空手plusスポーツ】 と 【フルコン】 の両方に出場する選手のみ✓印を付ける		
【空手plusスポーツ】		
☐ 幼年男女混合 年中	☐ 幼年男女混合 年長	☐ 小学男子1年生
☐ 小学男子2年生	☐ 小学男子3年生	☐ 小学男子4年生
☐ 小学男子5年生	☐ 小学男子6年生	☐ 小学女子1年生
該当項目に✓印→ ☐ 小学女子2年生	☐ 小学女子3年生	☐ 小学女子4年生
☐ 小学女子5年生	☐ 小学女子6年生	☐ 中学男子()年生
☐ 中学女子()年生	☐ 高校男子()年生	☐ 高校女子()年生
【フルコン】●中学生以下		
該当項目に✓印→ ☐ 初級	☐ 中級	☐ 上級adidasGP26権利部門
☐ 幼年男女混合 年()さん	☐ 小学男子()年生	☐ 小学女子()年生
該当項目に✓印→ ☐ 中学男子軽量50kg未満	☐ 中学男子中量55kg未満	☐ 中学男子重量55kg以上
☐ 中学女子軽量45kg未満	☐ 中学女子中量50kg未満	☐ 中学女子重量50kg以上
●高校生以上		
該当項目に✓印→ ☐ 初級	☐ 中級	
☐ 壮年男性軽量65kg未満	☐ 壮年男性中量75kg未満	☐ 壮年男性重量75kg以上
該当項目に✓印→ ☐ 青年男性軽量65kg未満	☐ 青年男性中量75kg未満	☐ 青年男性重量75kg以上
☐ 一般男性軽量65kg未満	☐ 一般男性中量75kg未満	☐ 一般男性重量75kg以上
☐ 一般女性軽量50kg未満	☐ 一般女性中量60kg未満	☐ 一般女性重量60kg以上

ふりがな	〒	—	(都・道・府・県)
氏名 (男・女)			
昭和・平成・令和 年 月 日生 (満 才)	携帯電話 ()	本人・父・母・他	
年中・年長・小学()年・中学()年・高校()年○で囲む	携帯電話 ()	本人・父・母・他	
身長 cm	体重 kg	修行年数 年 ヶ月	武階()級・()段○で囲む
◎参加人数により、学年統合や階級統合になった場合		(出場する・出場しない) ※どちらかに○印を付ける	
◎参加人数により、決勝戦のみ(ワンマッチ)になった場合		(出場する・出場しない) ※どちらかに○印を付ける	
◎前回出場した大会の戦歴 (大会名)		(成績)	
(初めての選手は「初出場」と記入)			

記載された個人情報は大大会運営や選手管理等に利用致します 選手の所属団体名及び出場選手名が大会冊子
正道会館HP、参加団体HP、新聞、雑誌等に掲載される場合がございますので御了承の程お願い申し上げます